



No.46
緑が丘地域まちづくり協議会
協 議 会

地域の絆で、高齢者に安心感を

緑が丘地域まちづくり協議会
緑が丘地区連合自治会
会 長 金 田 貞 夫



新年明けましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

一昨年・昨年と続く新型コロナ・ウイルスの影響により、令和二年度の市長懇談会が延期となり、次の予定は令和三年九月に設定されましたが、これも書面による要望と、書面による回答という、異例な懇談会となりました。

詳細については別に報告致しますが、重点的な質問は、緑が丘地区の高齢化率が、三十二・六%と、宇都宮市の高齢化率二十五・七%に比べ、実に六・九ポイント増と異常に高くなっていることです。

これは昭和三十年代の高度経済成長期に宇都宮市では企業の進出が多数あり、雇用が拡大し最盛期には年間一万人を超える人口増加があり、緑が丘地区にも住宅団地の開発が進み、若い層が多く居住して、五十年後に高齢者の街になったのです。

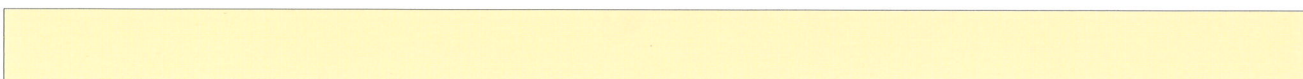
高齢化に対する緑が丘地区の要望は、現在双葉一丁目で実施されている住民主体型サービスの「介護予防・日常生活支援サービス」を緑が丘全体として展開出来ないかというもので、市の回答は是非進めたいということ、これを受け包括支援センターを中心、各自治会、社協、民生委員、福祉協力員の皆様と協議を始めたところです。

これは、介護保険制度による有償ボランティア活用で、主に要支援一・二などの方が対象で、対象者の希望するサービスに対し利用者は一時間当たり百円を支払い、ボランティアの方は介護保険から、薄謝を受けとるものです。

これにより、要支援の方（「要介護の方はケアマネージャーの対応」、特に一人暮らしの方が、地域の絆をより強めること、安心感を持ってもらえることと思います）ので皆様の支援をお願いします、住んで良かったという街に行きましょう。

❁❁❁ 明けましておめでとうございます ❁❁❁

理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	副会長	副会長	事務局長	理事	理事	副会長	副会長	会長	緑が丘地域まちづくり協議会(各種団体長)	
加藤	森田	吉田	岡野	篠原	今井	根本	石川	小林	寺内	猪俣治太郎	湯浅	久保	吉田	丸山	安野	室井	新沼	大垣	岡田	安野	室井	新沼	大垣	金田	緑が丘地域まちづくり協議会	
孝明	直樹	昭彦	旭	久恵	玲子	京子	清	秀明	利夫	緑二丁目自治会	芳郎	吉正	博信	忠	忠孝	健吾	隆三	重昭	米男	忠孝	健吾	隆三	重昭	貞夫	緑が丘地区福祉協議会	
緑が丘地区子ども会育成会連絡協議会	緑が丘小学校PTA	緑が丘地区民生児童委員協議会	緑が丘地区防犯協会	緑が丘地区健康づくり推進協議会	緑が丘地区婦人防火クラブ	緑が丘地区連合自治会女性部	緑が丘地区青少年育成会	緑が丘地区交通安全推進協議会	緑が丘体育協会	緑二丁目自治会	東原北自治会	東原南自治会	双葉二丁目自治会	緑一丁目自治会	宇都宮南交通安全協会緑が丘支部	江曾島一丁目自治会	江曾島二丁目自治会	東浦町自治会	緑が丘地区社会福祉協議会	緑が丘地区老人クラブ連合会	江曾島二丁目自治会	東浦町自治会	双葉一丁目自治会	緑が丘地区連合自治会	緑二丁目自治会	緑が丘地区防犯協会



市長と語ろう 緑が丘地区まちづくり懇談会報告

緑が丘地区まちづくり協議会
事務局長 岡田 米男

市長が地域に出向いて直接対話する、四年に一度の「まちづくり懇談会」の九月実施に向け諸準備を進めていたが、コロナ禍により書面での質問・回答となった。



ここでは、紙幅の関係で

地域代表意見（本会副会長二名）の概要と自由討議意見（本会団体長等四名）のテーマのみお示しし、市の回答については本会ホームページに掲載するので、ご一読願いたい。
なお、書面回答書を市長が持参し直接手渡しいただいた。

○地域代表意見一（概要）

「新たな施策に係る生活支援
～高齢化社会の問題点～」

副会長 大垣 重昭

少子高齢化・支援者不足の中、高齢者同士の支え合いの仕組みが必要である。本地区では、地域包括支援センターとの連携の下、幅広い福祉活動を行なっているが、高齢化に関する問題も山積している。

（一）要支援者への対応
三年前に地区内一自治会が立ち上げた要支援者の支援（B型）を高齡化社会の重要な活動と位置づけ、本地区連合自治会に格上げ・移行すべく検討している。

（二）重層的支援体制整備事業
本年四月施行の標記事業は、多様な福祉活動の活性化に繋がると期待する。

（三）今後の福祉事業の推進
福祉事業の推進には、地域包括支援センターが大きな役割を果たしている。本地区でも住民と一体となっ

（一）「明日葉」問題の背景
子供たちの成長を保障する大切な社会資源、「子ども

（二）「教育環境の改善」
充実と安全管理」

（三）「教育環境の改善」
副会長 新沼 隆三

指定管理者制度の導入と指定管理者の選定には、それらへの適応能力が重要ポイントと思うがどうか。

職員の雇用環境や労働条件の改善に繋がる公的支援の充実を要望する。

（一）「生活支援コーディネーター」の配置は、充実した支援体制構築上急務であり、早急な配置を要望する。

併せて、本事業の推進策及びそれに係る地域包括支援センターの位置づけ等、市の考えを伺いたい。

（二）「生活支援コーディネーター」の配置は、充実した支援体制構築上急務であり、早急な配置を要望する。

併せて、本事業の推進策及びそれに係る地域包括支援センターの位置づけ等、市の考えを伺いたい。

（三）今後の福祉事業の推進
福祉事業の推進には、地域包括支援センターが大きな役割を果たしている。本地区でも住民と一体となっ

（二）校舎の老朽化と巨木・枯木等の安全管理

緑が丘小では現在、窓の落下のおそれありとして、北・南校舎の窓の閉鎖を行わないよう指導しているという。また、プール南側の樹木から水槽内に落ち葉、虫が混入することや倒木のおそれがある枯木の問題等もあるやに聞く。
限られた財源の中、優先順位等に基づく対応が実情かとは思いますが、スピード感を持った実効あるヒヤリング・実地調査等を実施し、緑が丘小の窓の修繕、プール南側の樹木の剪定、枯木の撤去を要望する。

○「自由討議意見」(テーマ)

- 一 ときどき団体に地域の団体・組織ボランティアの活用
- 二 児童登下校時の安全確保
- 三 LRT運営に伴う市の収支
- 四 指定管理者の支払機関の変更



健康ウォーキングを楽しむ
緑が丘地区まちづくり協議会

コロナ禍の影響でふるさとまつり、コミセンまつりが、二年間開催できなかった。代わりに総合運動公園を廻るウォーキングを令和三年十一月二十七日(土)に一五〇名と多くの方々の参加をいただき、雲一つない快晴の下に開催できました。
コロナ禍を避けるため、三班に分け、三十分間隔でスター



て努力を重ねているが、その推進には予算・人的配慮が大きく影響する。同センターへの今までの予算・人的配置を要望する。

○地域代表意見二（概要）

「教育環境の改善」

充実と安全管理」

副会長 新沼 隆三

（一）「明日葉」問題の背景
子供たちの成長を保障する大切な社会資源、「子ども

（二）「教育環境の改善」
充実と安全管理」

（三）「教育環境の改善」
副会長 新沼 隆三

指定管理者制度の導入と指定管理者の選定には、それらへの適応能力が重要ポイントと思うがどうか。

職員の雇用環境や労働条件の改善に繋がる公的支援の充実を要望する。

（一）「生活支援コーディネーター」の配置は、充実した支援体制構築上急務であり、早急な配置を要望する。

併せて、本事業の推進策及びそれに係る地域包括支援センターの位置づけ等、市の考えを伺いたい。

（二）「生活支援コーディネーター」の配置は、充実した支援体制構築上急務であり、早急な配置を要望する。

併せて、本事業の推進策及びそれに係る地域包括支援センターの位置づけ等、市の考えを伺いたい。

（三）今後の福祉事業の推進
福祉事業の推進には、地域包括支援センターが大きな役割を果たしている。本地区でも住民と一体となっ

トする配慮で、九時に金田会長の挨拶後、担当者から説明を受け早速元気にスタートしました。カンセキスタジアム、小平重吉さんの銅像、そして水生植物園内の東屋の三点を廻る約五キロメートルのコースで行いました。ゴール後帰りに、沢山のお餅が入った大袋を抱え元気に帰路に着きました。

車椅子寄贈される

緑が丘地区まちづくり協議会

令和三年七月三十日、「植木鋼材株式会社」様より立派な車椅子の寄贈がありました。誠にありがとうございます。大切に使用させていただきます。

緑が丘地域コミュニティセンターに保管しております。ご自由にお使いください。



創立五十周年を迎えて

緑が丘体育協会

会長 寺内 利夫

皆様のご支援をいただき創立五十周年の年を迎えることが出来ました。

日頃のご支援に御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの影響で活動が出来ませんでした。今年度は三つの大会を開催することが出来ました。

創立五十周年を迎え体育祭を盛大に行う予定でしたが、中止という結果で本当に残念でした。

六月に第二十七回輪投げ大会を開催し、緑一丁目自治会が優勝しました。

十月に第二十八回輪投げ大会を開催し、双葉一丁目自治会が初優勝しました。

十一月に第三十四回卓球大会を開催し、緑三丁目自治会が優勝しました。

今年の三月二十七日(日)に創立五十周年記念式典と祝賀パーティを行う予定で準備を進めています。



第27回輪投げ大会・優勝 緑1

開催日	種目	優勝	準優勝	第3位	最優秀選手
6月12日	第27回輪投げ大会	緑1	江曾2	双葉1	菅野 晴夫
10月30日	第28回輪投げ大会	双葉1	緑1	緑2	塚原 誠
11月21日	第34回卓球大会	緑3	東浦	緑2	本田 淳



第34回卓球大会・優勝 緑3



第28回輪投げ大会・優勝 双葉1

コロナを乗り越えて

緑が丘地区社会福祉協議会

会長 大垣 重昭

新型コロナウイルスの発生から二年、お元気に新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、今年度も昨年同様コロナの影響により、各事業が実施困難になりました。

特に敬老会は綿密な実施計画まで立て、寸前で「緊急事態宣言」により中止となり、楽しみにしていた招待者の方々には誠に申し訳ありませんでした。そこで最小人数で左記の贈呈式を開催しました。

本年も我が地域に三名の百寿の方がおり、総理大臣・県知事・市長・当社協からの祝詞・記念品等を、また、一般の敬老者の皆様には記念品を、各自治会代表にお渡ししました。

なお、当日福祉協力員の再任の辞令の交付を行いました。それに加え特別に十年以

上地域の裏方として努力していただいた福祉協力員に感謝の意を込め、お礼を贈呈させていただきました。

また、毎年楽しみにしている緑が丘小学校児童との交流会も開催できず、代わりにコロナ対策用の大型扇風機を贈りました。

既に配布しておりました『安心・安全情報キット』により、一命を取り留めたケースが地区内に二件あり、重要な事業だと再認識しました。一方、新たに該当になられた方々への配布を、民生委員・福祉協力員にお願いしております。

昨年の暮れ、ひとり暮らしの高齢者の交流の場「さわ会」がやっと開催できました。アトラクションを楽しみながら、待ちに待った再会を喜び合う参加者の姿に、「さわ会」の大切な役割を感じ、次回も無事に開催できるようにと、コロナのない世の中に戻ることを祈るばかりです。



昨年はパラリンピックが開催され、ハンディキャップをもつとせざる果敢に競技に挑む選手の姿に、みなさんも大きな感動を覚えたことと思います。私も福祉に携わる一人として、感無量の思いで胸が熱くなりました。この感動を力にして、微力ではあります。先輩の方築いた歴史ある「住んで良かった福祉のまち緑が丘」のより一層の発展に努力してまいります。

つながりを大切に

宇都宮市立緑が丘小学校

校長 樽井 圭子

今年、アメリカの大リーグでMVPを獲得した大谷翔平選手の話が日本中に溢れています。私自身野球をよく知っている訳ではありませんが、二刀流など野球の技能はもちろんのこと、いつも明るい笑顔で対応し、グラウンドのごみを自然に拾っている姿など微笑ましい姿も魅力の一つだと思います。

そんな大谷選手の話の中に、「目標を立てればいいのではなく、いかに目標に向かって真剣に取り組めるかも大切だ」という言葉がありました。この言葉から、今更ながらに上手いかないときこそ諦めるのではなく、より頑張ろうとするポジティブな気持ち育てることの大切さを感じたところです。

緑が丘小学校校長として着任し、二年目になります。目標をもって頑張ることの楽



しさ、苦しくても負けない強さ、うまくいかないときに自分を修正するたくましさ。子供たちがそのような思いをもち行動できるよう「豊かなつながりを通して、誰もが生き生きとかがやく学校づくり」を柱に地域の皆様と連携を図りながら、教職員一同頑張っていきたいと思っております。本校の子供たちが自分に自信をもち成長できるように、今年も子供たちのよさを認め、励ましていただけますよう御支援と御協力をよろしくお願いたします。